

第1回「六次産業化」を考えるシンポジウム（連続講座）

六次産業化は、農業農村に何をもたらすのか。その目的と意義を先進事例から深める

六次産業化・地産地消法が2011年3月に施行され3年。その意義や内容、仕組みについて知り、具体的な先進事例について検討します。その中から農業者のやる気、所得の向上、地域の活性化、雇用の創出、地産地消などがどのように始まってきているのか、六次産業化によって農業者はフードシステムの指導権をにぎっていけるのか、などを考えます。

この企画は、昨年12月9日、高橋信正編著「『農』の付加価値を高める六次産業化の実践」（筑波書房）が出版されたのを記念し、連続講座企画で開催します。尚、編著者の高橋信正氏は、日本都市農村交流ネットワーク協会の副理事長です。

【主催者】 NPO法人 日本都市農村交流ネットワーク協会

【開催日】 2014年3月22日（土）午後2時～5時、終了後、夕食懇親会

【会場】 京都生協 せいきょう会館4F会議室（京都市中京区夷川通烏丸東入西九軒町291） 地図右

交通便：京都駅から地下鉄烏丸線、丸太町駅下車7番出口南へ徒歩3分 京都新聞本社ビル南側



【企画次第】

I 開会のあいさつ NPO 日本都市農村交流ネットワーク協会

副理事長 尾松数憲

来賓のあいさつ 農林水産省近畿農政局（予定）

京都府農林水産部 部長 小田一彦さん

II 講演会

司会：中村貴子（NPO協会 理事）

1) 六次産業化とは (1) 六次産業化の意義、内容

講師：高橋信正（NPO協会 副理事長）

(2) 六次産業化法の目的とめざすものは何か

講師：小林俊夫（栃木県六次産業化推進員）

2) 集落の活性化、雇用の創出、地産地消の運営を先進事例から見る

(1) 事例1 「地産地消と六次産業化の接点」

講師：宮井浩志（福井大学産学官連携本部）

(2) 事例2 「“ゆずが育む” 地域産業の形成」

講師：大西敏夫（和歌山大学経済学部教授）

III 意見交換・質問、まとめ、後 閉会あいさつ

【参加費及び定員】 定員50名、参加費1,000円、学生500円（講座運営費、資料代、会場費等） 申し込み締切日：3月18日（火）

【申し込み・問い合わせ】 協会事務局 fax 075-344-0465 事務局：吹田 携帯 080-3853-5682（申し込み要綱裏面）

○終了後、夕食交流・懇親会を兼ねて高橋信正編著「『農』の付加価値を高める六次産業化の実践」の出版記念会を開きます。参加費3800円（予定）

（主催者）NPO法人 日本都市農村交流ネットワーク協会

（後援）農林水産省近畿農政局

京都府

第1回「6次産業化」を考えるシンポジウム 申し込み用紙

申し込み締切日：3月18日（火）

電話での受け付けはいたしません。FAXまたは、メールでお願いします。

申し込み先： NPO 法人日本都市農村交流ネットワーク協会 事務局担当 吹田 知久

事務局 FAX番号： 075-344-0465

メール：tomohisasuita@gmail.com

以下、（①シンポジウムのみ、②シンポジウムと夕食交流懇親会） 申し込みます

< _____ >（①か②ご記入ください）

氏 名	住 所	電 話